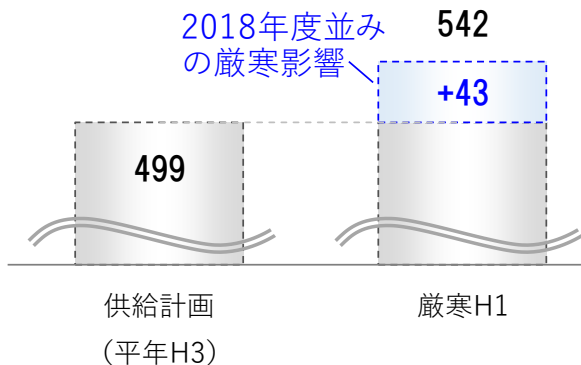


今冬（2019年度冬季）の需給見通し（2019年7月現在）

- 需要見通しは、過去10カ年で最も厳寒であった2018年度並みの気象影響を反映した結果、昨冬並みの542万kW（1・2月）と想定しました。
- 北海道エリアの需要および供給力見通しに基づく今冬の需給見通しは、下表のとおりです。最も需給が厳しい1月においても、供給予備率は15.9%程度となり、電力の安定供給に必要な最低限の予備率3%以上を確保できる見通しです。

	12月	1月	2月	3月
需要（厳寒H1） [万kW]	519	542	542	482
供給力 [万kW]	604	628	630	595
供給予備力 [万kW]	85	86	89	113
供給予備率 [%]	16.3	15.9	16.4	23.4



需要見通し（1月の例）

供給計画で想定した最大3日平均電力（平年H3）499万kWに過去10カ年で最も厳寒であった2018年度並みの気象影響を反映して、542万kWと想定しました。

大規模な計画外停止発生時の状況（2019年7月現在）

- 大規模な計画外停止（154万kW※¹）が発生した場合においても、北本連系設備からの受電と小売電気事業者の通告調整契約※²を織り込むことで、電力の安定供給に必要な最低限の予備率3%以上を確保できる見通しです。

※¹ 苫東厚真発電所1・2・4号機の供給力相当〔送電端〕

※² 万一の需給ひっ迫が発生もしくは見込まれる場合に要請により電気の使用を抑制する契約

	12月	1月	2月	3月
需要（厳寒H1）〔万kW〕	519	542	542	482
供給予備力〔万kW〕	20	21	23	18
供給予備率〔%〕	3.8	3.9	4.3	3.6

